

宮崎県拠点だより



輝く技術！スマート農業機器で、棚田管理の省力化！

～高千穂町中山間棚田スマート農業実証コンソーシアム～

高齢化・後継者不足により増加する耕作放棄地や農地管理の対策のため、今年度から高千穂町の下野西機械利用組合を中心に、農機具メーカー等とタッグを組んでスマート農業実証に挑戦している取組を紹介します。

同コンソーシアムでは、「スマート農業と言えば、平場の大規模圃場でGPS機能付き大型機械を操作するイメージがあるが、高齢化・担い手不足で省力化が必要な中山間地でこそ輝く技術」と考えており、当地区での実証をぜひとも成功させたいと意欲に燃えています。

【導入機器及び機能】

- 水管理システムによる自動制御・遠隔監視
- ドローンによる水稻直播き及び施肥・防除と、GPSデータでの作業確認
- リモコン式草刈機による急傾斜畦畔法面管理
- パワーアシストスーツ



遠隔操作水管理システム(自動給水栓)

横

現地に行かず、
スマートフォンで
制御、状況確認
が可能。



棚田でも小回り
が利き、便利！

ドローンによる防除

急斜面作業
も安全に！



リモコン式草刈機

重い荷物
もラクラク
作業！



パワーアシスト作業

サツマイモ基腐病まん延防止対策の適確な実施を！

～感染拡大を防ぎ、産地の維持につなげる～

サツマイモ基腐病は、感染すると地際部から茎が枯れ、いもが腐敗する症状を引き起こし、多発したほ場では大幅な減収となります。宮崎県内では、平成31年1月に初めて発生が確認され、県南地域を中心に、甚大な被害をもたらしています。

県、市、JA、生産者等の関係者は、対策会議を実施するなど連携し、ほ場残渣の焼却・分解処理、土壌消毒、排水対策や、健全な種いも・苗の確保など、知見に基づくまん延防止対策を周知・徹底し、地域が一体となって発病の抑制に取り組んでいます。

さらに、国や他県とも連携し、防除技術の実証や抑制対策の共同研究を継続して進め、産地維持を図ることとしています。

また、防除効果の高い有効な農薬の早期登録や登録農薬の拡大が期待されています。



次期作に向けた今後の必要な対策

- (1) 健全な種苗の確保
- (2) 作型の早進化(病害の影響回避)
- (3) 菌密度の低下に向けた取組
 - ・代替品目による輪作体系の推進
 - ・土壌消毒の実施、残渣の持ち出し
- (4) 登録農薬の拡大
- (5) 試験研究機関による継続した伝染経路等の解明



腐敗した塊根



発病したほ場

ジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)の防除対策 ～冬春編～

水稻被害を防ぐため越冬個体数を減らすことが重要です。



○ 冬期の耕うん（発生している場合に必ず実施）

物理的な破碎を行うとともに貝を厳寒期の寒風にさらす。

いつ・どのように

・土壌が乾燥して固い厳寒期（1～2月）に、トラクターの走行速度を遅く、PTO回転を速く（ロータリーの回転を速く）し、土壌を細かく砕くように耕うん。

留意事項

・未発生ほ場への貝の持ち込みを防止するため、使用後のトラクターに付着した泥を洗浄。



○ 冬期の水路の泥上げ（発生量が多い場合に実施）

越冬場所をなくし越冬個体を寒風にさらすため、水路の泥上げを地域全体で行う。

いつ・どのように

・殺貝効果が高まる厳寒期（1～2月）に実施。

留意事項

・掘り上げた泥は、未発生ほ場に持ち込まない。



○ 春夏期の防除対策として、
田植え前まで：取水口・排水口への網の設置、春期の石灰窒素
田植え時から：浅水管理、薬剤散布
などを組み合わせて実施しましょう。



鳥インフルエンザウイルスが県内に猛威を振るっています。

徹底した感染対策でこのピンチを乗り越えましょう。

今シーズンのウイルスの特徴について

今シーズンは、農場周辺のあちこちに、
多量の鳥インフルエンザウイルスが存在。



でも…

農場・人・物・車両の消毒等により、
ウイルス量を一定量以下まで減らせば、
感染を防ぐことが可能です。



※農研機構の試験において、 10^5 EID₅₀では鶏が死亡し、 10^4 EID₅₀では死亡しない結果。
（1EID₅₀：発育鶏卵の半分に感染させるウイルス濃度）

徹底的な消毒で、

この渡り鳥の飛来シーズンを乗り切れるよう、
関係者が連携し、頑張りましょう！！



今シーズン（2020-21）は、

多量に鳥インフルエンザウイルスが
あちこちに存在しています！！



鳥や小動物を捕食する
ハヤブサやフクロウ等の
猛禽類も感染死

防鳥ネットや消毒機器等の整備など、
支援も用意していますので、
ご相談ください。



対策は…

消毒や防鳥ネットの管理など
全ての従業員による
飼養衛生管理の
基本の徹底!!

「ウイルスを農場内に入れさせない」
「ネズミやネコにも油断しない」

農場を守れるのは…

あなた
農場主だけ…

**早期発見
早期通報
が重要です!!**

地方参事官室ホットライン

TEL 0985-24-2365

FAX 0985-27-2035

本紙の記載内容等についてのご質問、農政に関すること、事業や制度への質問・ご意見等がございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。
（〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17）

農林水産省ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来のこどもたちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受けとめ、時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動します。